

町立保育所の早期整備を求める決議

近年、少子化が進行し、児童数の減少が予測される一方、女性の就労機会の増大、就労形態の多様化や核家族化の進行などにより、保育所入所を希望する方が増加し、その需要は右肩上がりに伸びている。また、時間外保育や病後児保育といった、特別保育に対するニーズも労働の多様化に伴い高まってきており、保育ニーズは多様化している。

今後、これら多様な保育ニーズに対応するためには、保育施設の整備・拡充を図る必要がある。

しかしながら、本町では、つくも保育所を除き、畝保育所、西浜保育所、幸保育所の3保育所は、大規模地震に耐える建物は1棟もないのが現状であり、著しく老朽化が進行しており、一刻も早い対応が喫緊の課題である。

海田町次世代育成支援行動計画後期計画では、保育ニーズやその動向、障がい児保育への対応などを考慮しながら、保育所の整備を計画的に推進するとあるが、具体的な年次計画等が示されていない。

以上のことを踏まえ、課題解決に向けて、統廃合の検討も含め、早期に保育所整備計画を策定し、計画的に保育所整備を推進するよう求める。

以上決議する。

平成25年2月19日

広島県海田町議会